

RPPC メールマガジン 第 723 号

リサイクルポート推進協議会（平成 30 年 4 月 25 日発行）

■先週・今週の報道発表

先週・今週の報道発表はありません。

■RPPC 事務局からのお知らせ

1. 平成 30 年度 RPPC 定時総会について

・日時：平成 30 年 6 月 5 日（火曜）

・場所：ホテル アジュール竹芝

<http://www.hotel-azur.com/>

※詳細につきましては添付資料をご参照ください。

2. RPPC 幹事会の予定が決まりました

幹事の方には別途ご連絡済です。

日時：平成 30 年 5 月 21 日（月）

場所：（一財）みなと総合研究財団 3 階会議室 15:00～

3. RPPC 運営委員会の予定が決まりました。

運営委員の方には別途ご連絡済です。

日時：平成 30 年 5 月 29 日（火）

場所：（一財）みなと総合研究財団 3 階会議室 13:30～

4. 来週（5 月 2 日）配信予定のメールマガジンは G/W の為お休みいたします。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 港湾・空港等整備におけるリサイクルガイドライン改訂
2. 徳山下松港新南陽直轄土砂処分場、受入容量拡大へ技術公募
3. 神戸港の 30 年度事業、C T 荷捌き地の液状化対策等を促進

=====

◆リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 港湾・空港等整備におけるリサイクルガイドライン改訂

国土交通省港湾局は4月18日、リサイクル材の適切な利活用の促進を図るため、「港湾・空港等整備におけるリサイクルガイドライン」を改訂したと発表した。技術評価の更新により6材料で評価が向上した。

同ガイドラインは、港湾・空港等工事におけるリサイクル材の利活用促進を図るため、産業副産物を港湾・空港等工事の建設資材として利用する際の技術的取扱いや法令面をまとめている。

今回6材料について各技術マニュアルやガイドライン等が整備されたため、評価が向上した。各材料並びに用途は次の通り。

- ▽鉄鋼スラグ二次製品（浚渫土改質材）＝用途・埋立材（評価○→○＋）、
- ▽フライアッシュ（J I S灰／非J I S灰）＝コンクリート用細骨材（評価○＋→◎）、
- ▽クリンカアッシュ＝SCP材（評価△→○＋）、盛土材等（○＋→◎）、埋立材（評価△→○＋）、
- ▽石炭灰二次製品（石炭灰造粒物）＝サンドコンパクションパイル材（○→○＋）、
- ▽フェロニッケルスラグ＝コンクリート用粗骨材（○＋→◎）、
- ▽破碎瓦＝裏込材（評価なし→△）、裏埋材（評価△→○＋）、埋立材（評価なし→△）。

.....

2. 徳山下松港新南陽直轄土砂処分場、受入容量拡大へ技術公募

中国地方整備局宇部港湾・空港整備事務所は、徳山下松港新南陽地区で運用している土砂処分場の更なる容量拡大を図るため、浚渫土砂の有効的な処理方策や施工法の検討、また既設護岸の安定計算等にかかるプロポーザル業務を公募している。

徳山下松港新南陽地区の直轄土砂処分場は、面積約21haで約290万立方mの受入容量がある。25年度から新南陽や徳山地区の航路・泊地浚渫から発生する土砂の受入れを開始しているが、早晩満杯になるため、宇部港湾・空港整備事務所では内部の圧密を促進し、受入容量の拡大を図る取り組みとして、28年度から処分場内部にドレーン材を打って圧密沈下を促進する取り組みを進めている。

ただ徳山下松港では活発な港湾活動に応えるための事業により、今後とも航路浚渫等から大量の土砂が発生する見通しになっており、新たな処分場の確保が必要になる。しかし現状では短期間に新たな処分場を確保することは困難なため、新南陽地区の直轄土砂処分場の更なる活用を考えている。

.....

3. 神戸港の30年度事業、CT荷捌き地の液状化対策等を促進

近畿地方整備局神戸港湾事務所は平成30年度の直轄港湾整備事業として、事業費約200億円で国際海上コンテナターミナル（水深16m）に関わる事業等を進める。ポートアイランド第2期地区荷捌き地の液状化対策や六甲アイランド地区荷捌き地の地盤改良等を前年度に続き実施する。また大阪湾岸道路西伸部に関連する調査測量や航路（マイナス12m）浚渫等にも着手していく方針。

神戸港の30年度事業のうち、ポートアイランド第2期地区の取組みでは、PC18背後地、並びにPC15～17背後地の液状化対策を促進する。過年度からの継続事業になりユーザーとの調整が整った区画から各荷捌き地のエリアを壁状に囲み、その後に内部の液状化対策へと進めていく。

また六甲アイランド地区においても利用者の協力を得つつ荷捌き地の液状化対策を継続実施する。水深16mのRC-7とRC-6コンテナターミナル背後が対象で、これまでにRC-7側は改良をほぼ終了し、今後はRC-6岸壁側を促進する。既設のアスファルト舗装材や路盤材を撤去し、陸上SCPで順次地盤改良していく手法をとっている。また航路等の確保として、水深16m航路に支障を来す第6南防波堤の撤去や航路浚渫なども進める。

このほか阪神国際港湾㈱が運用中の国際コンテナターミナル施設について、必要に応じて維持補修等工事や荷役機械への支援を実施する。

【港湾空港タイムス 18年04月23日号から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長代行：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：青木 信裕 新日鐵住金（株）

山崎 和宣 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、安田

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

- 会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。
開催案内等の情報をメルマガで配信致します。
- メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。
- メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。